



きらめき 串木野っ子

【校訓】
よく考え、
明るくすなおで、
がんばる子

令和3年度2月号
串木野小学校学校便り
令和4年2月25日発行

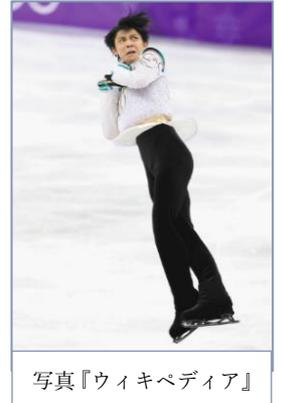


「9歳の自分が跳べって言っていたんです」

～行動動機を持つ強さを子どもたちに伝えたい～



校長 藤山 洋一



写真『ウィキペディア』

北京冬季オリンピックが閉幕しました。日本人選手は過去最多となる18個のメダルを獲得し、全てを懸けて4年に一度の戦いに挑んだ選手たちの姿に多くの国民が感動したのではないのでしょうか。

私も日本人選手の活躍をテレビ映像で見ながら毎日興奮しておりましたが、私にはいつもオリンピックの楽しみ方がもう一つあります。それは、選手たちの試合後のインタビューコメントを聞くことです。

4年間という時間の過酷なトレーニングに耐えながらも、その結果が一瞬のパフォーマンスで決着してしまうという、極限状態で戦う人間から発せられる言葉には、何か引きつけられる「光る言葉」があります。

冬季オリンピック2連覇の羽生結弦選手は、今大会で史上誰も成し得ていない4回転アクセルを跳ぶことにこだわりました。結果は皆さんがご存じのとおりですが、彼はオリンピック3連覇という偉業よりも、あえてリスクを冒してでも「4A」に挑戦することを優先させました。

なぜ跳ぶのか？メディアの質問に彼は、「僕の心の中に9歳の自分がいて、あいつが跳べって言っていたんです」飄々と答える彼独特の表現ではありましたが、4歳からフィギュアスケートを始めた彼は、結局長い間これをやりたかったのだと勝手に納得したのです。同時に、スケートを始めた時から、もしかすると無意識のうちに彼の心に芽吹いていた「行動動機」が、この大一番で彼を突き動かしたことに、彼の持ったたかさとしなやかさを同時に感じたのです。

行動動機、いわゆるモチベーションを有する者は常に強い。それは、子どもたちにとって身近な大人からの刺激であったり、心を揺り動かす感動との出会いであったり、何がきっかけになるかは分かりません。ですから、私たち親や教師は常に子どもと向き合い、夢や希望を語りかける存在でなければならないと改めて考えるのです。

そう言えば、2月のある日、登校中の女子中学生が私の前で立ち止まり、「校長先生、今回英語のテスト95点でした。」そして次の朝も「国語は学年2番でした。」と笑顔で報告してくれました。律儀に丁寧な報告をしてくれることがとてもうれしかったのですが、内心では小学生だった君たちにそんなにプレッシャーを与えていたのだろうかと戸惑いながら、「すごいな、その調子であなたの夢をつかみなさい」と声をかけ、学びに向かう行動動機が芽生えた頼もしい後ろ姿を見送ったのです。

【今年の5年生もよく頑張りました。「鹿児島学習定着度調査」結果概況を公開します。】

R 4. 1. 18・19実施

	本校平均	県平均	差	県平均超児童割合	課題
国語	78.0	72.3	+5.7	68.3%	どの教科においても自分の考えを整理して記述することに課題がありました。
社会	90.6	80.0	+10.6	84.7%	
算数	77.1	70.6	+6.5	73.7%	
理科	71.6	73.1	-1.5	53.6%	

現5年生が1月に実施した「鹿児島定着度調査」の結果です。担任の先生と1年間取り組んだ成果は出ていると思います。次の目標は6年の4月に実施する「全国学力・学習状況調査」です。やる気スイッチを入れ始めた児童がたくさん出てきました。この調子で頑張りましょう。



学級活動：3年2組の研究授業の様子です。司会の児童を中心に話し合いを進め、自分たちの生活をよりよく、楽しくするための意見を出し合いました。話し合いの準備がよくでき、理由まで述べて多くの児童が自分の考えをすすんで発表できたことなど、児童の成長を感じることができました。

余寒の候 がんばる子どもたち



高学年を中心とした「あいさつきらめき隊」の活動です。寒い朝が続きますが、正門前で毎日見られる風景です。子どもたちの中には、自主的に立ち止まって「門礼」をする姿も多く見られます。



各学年で、縄跳び大会が開催されました。ご参観ありがとうございました。大会に向けて、目標をもって寒さに負けず、縄跳びの練習に励む姿がよく見られました。



日本遺産 《武士が活躍していた時代の麓地区のことを学習しました。》

本校区の麓地区は「日本遺産」に登録されています。武士が活躍していた時代には、串木野城を中心として武家屋敷が並び、馬場や役所がありました。戦国時代を戦った島津家の逸話、砦としての機能など、地域の方に聞くと多くの遺産が残っています。皆さんはご存知ですか。

串木野小6年生は、2月16日(水)からクラスごとに日本遺産の麓地区と薩摩藩英国留学生記念館の見学を行い、郷土の歴史にスポットを当てた学習を行いました。16日はテレビでもお馴染みの東川隆太郎さん(NPO法人)を講師に招き、一緒に麓地区を散策しながら興味深い説明を受けました。麓地区の皆様、ご協力ありがとうございました。

2日目は社会教育課の新町係長、3日目は本校の学校運営協議会委員の長洋孝さんが講師として分かりやすく説明をしてくださいました。ほとんどの児童が初めて訪れる武家屋敷や城跡などを見て回り、串木野のことを再発見できました。「串木野小校区に、こんな歴史を学べる場所があることを初めて知った。」「関ヶ原の戦いと関係のある人がこのお城にいたことに興味をもった。」と、児童にとって有意義な学習になりました。

この見学の後、英国に旅立って近代日本の発展に尽力した人々のことを留学生記念館で学び、郷土の歴史に触れる1日となった6年生でした。



旧入来邸の見学



東川隆太郎さんの説明

3月の行事予定

- 4日(金) **学期PTA(全学年) ⇒中止とします。**
(新型コロナウイルス感染拡大防止のため)
- 10日(木) 学校開放
- 12日(土) 土曜授業 6年生を送る会「ありがとうの日」
- 15日(火) 卒業式予行練習
- 22日(火) 卒業式会場準備
- 24日(木) 第75回卒業式
- 25日(金) 修了式・辞任式
- ※ 3/22日(火)～4月6日(水) 体育館開放なし



令和3年度 第75回卒業式

- 日時 3月24日(木) 9:15 開式
 - 会場 串木野小学校体育館
 - 参加者
 - 卒業生
 - 男子46名、女子53名、計99名
 - 本校職員
 - 卒業生の保護者(ご家族2名以内)
 - 市教育委員1名
- 感染症予防のため、時間短縮、参加者の制限を設けて実施しますので、御了承ください。

串木野小では、新型コロナウイルス感染症拡大予防に努めています。学校生活の全ての場面において予防のための共通実践を守らせ、マスク着用、手洗い及び部屋の換気の徹底を行っています。ご家庭や地域でも感染予防に取り組んでいただき感謝しています。今後ご協力よろしくお願ひします。